

安全



安心

JAL不当解雇撤回ニュース

No260号 2013.03.15
 発行:JAL解雇撤回国民共闘事務局
 連絡先:航空労組連絡会事務局
 〒144-0043 大田区羽田5-11-4
 フェニックスビル内
 TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.co>

宣伝、パレードに学習と勝利に向けて奮闘中

2月 厳しい寒さが続きましたが、原告団は勝利判決に向け、連日汗を流して奮闘。宣伝行動やパレード、そして各労働団体が主催する春闘の集会や学習会等に参加し、支援の訴えや物販等々に取り組みました。

また、2月19日に開催した原告団集会では、控訴審より弁護団に加わっていただいた徳住先生を講師に、2月末に原告が提出した6人の意見書等を踏まえて、裁判闘争の現状と課題について学習しました。以下2月後半の奮闘ぶりを紹介します。



2月14日=愛と平和のバレンタインパレード

新婦人等が主催する“愛と平和のバレンタインパレード”に参加。その後17時からは日航本社前宣伝行動に。上の写真は銀座マリオン前を行く“愛と平和のバレンタインパレード”。

春闘討論集会や決起集会、学習会

2月に入り13春闘も本格化。原告団は全国各地で開かれる集会等に参加し、闘いの現状報告をするとともに支える会への入会や署名への協力等を訴えました。また、闘争資金

を確保するために物品販売やカンパにも取り組みました。写真左は都内で実施された13春闘官民共同行動で訴える原告、右は国労東海地本の集会で物品販売をする原告。物販の利益は闘争資金となります。みなさんの協力をお願いします。



2月15日=東京総行動

全労協等が参加するけんり総行動実行委員会主催の東京総行動が、2月15日実施されました。日航本社前行動で主催者あいさつに立った金澤全労協議長は「総行動として初めて日航本社前にきた。日航の不当な対応が我々をここに呼び寄せた」と述べ、不当な日航の対応を変えさせ、勝利判決・職場復帰に向けて闘おうと呼びかけました。

上の写真は、本社ビル入り口で対応する日航社員に対し、不当な対応に抗議するとともに、要求書を手渡し、早期解決を要請する金澤全労協議長。



2月19日=原告団集会で徳住先生を講師に学習会

2月19日の原告団集会にて、高裁より弁護団に加わった徳住先生を講師に学習会を開催しました。先生は「倒産法学者や管財人として倒産の実務にあたってきた弁護士から、日航の解雇はおかしいという意見書が出された。裁判は

会社更生法と労働法のせめぎ合い」と述べ、更生手続下においても労働者の雇用と権利を守るという裁判の意義を強調されました。



2月21日 GJ連絡会の新宿宣伝

東京西部ブロックの支援共闘組織 GJ連絡会(原発問題とJAL不当解雇撤回闘争に取り組んでいる)は定例行動として、毎月、新宿駅での宣伝行動を取り組んでいます。下の写真は2月21日の定例宣伝行動の一コマです。



2月28日=全国一斉宣伝行動

2月28日は定例の全国一斉宣伝行動。都内6駅頭では、はじめてポケットティッシュにチラシを折り込み配布。このティッシュチラシは配布を始めて15~



20分程度で全てはけてしまい、その後は、マイク宣伝、いつものチラシだけの配布と署名の訴え等を行い、当初の終了予定時間まで続行。訴えを聞き質問される方、激励の言葉をかけてくれる人等々、多くの方が耳を傾け、そして署名をしていただきました。写真右は立川駅南口での宣伝行動にて署名をする勤め帰りの男性。

成田空港 日航旅客カウンター前ビラ

2カ月に1回(偶数月)ペースで、成田空港の日航旅客カウンター前を中心に、横断幕を掲げ、日航を利用するお客様に支援を訴えるチラシの配布を実施しています。この宣伝行動は、JAL原告団、日東整争議団、契約制CA止め裁判の3者共催で実施しています。左の写真はお客様に解雇の不当性等を説明する山口パイロット原告団長。



2月22日 原告団主催の銀座パレード

2月22日、原告団主催の銀座パレード(下の写真)。18:30に日比谷公園を出発し水谷橋公園まで、約40分のパレード。パレードの途中から13春闘官民共同行動に参加していた国公労連やJMIUの仲間も合流。「日航は不当解雇を撤回せよ!」とのシュプレヒコールが夜の銀座に響きました。

